



情報解禁日時:2017年1月19日午前5時

Press Release

新製品:「ライカ M10」

ライカ M システムの新たな歴史を刻む:よりコンパクトになり、描写性能と操作性が向上

ライカカメラ社 (Leica Camera AG、本社:ドイツ・ウェッツラー、以下ライカ)は、新たな基準を打ち立てるレンジファインダー式デジタルカメラの新製品「ライカ M10」を発売いたします。長い伝統と革新技術が結集した「ライカ M10」には、写真撮影に本当に重要な要素がこれまで以上に凝縮されています。伝説的なライカ M システムの本質的な原則を踏襲しながらも、各機能が現代のフォトグラフィーのさまざまなニーズに合わせて調整され、コンポーネントと技術的ソリューションはそのいずれも一切の妥協なく写真撮影機能のみに集中しています。ボディサイズがよりコンパクトになり、性能と操作性が向上した「ライカ M10」は、まさにライカの M フォトグラフィーの新たな歴史を刻むカメラとなることでしょう。

フォルムを重視:フィルムカメラのサイズをデジタル時代に反映

人間工学に基づいたデザインで手にフィットするサイズの M 型フィルムカメラは、多くの写真家に愛されており、M 型デジタルカメラでも同サイズへの改良の要望が数多く寄せられていました。「ライカ M10」では、トップカバーの奥行きがわずかに 33.75mm と、現行のデジタル M 型カメラの「ライカ M (Typ 240)」よりも 4mm ほど薄い夢のサイズを実現し、これまでの M 型デジタルカメラの中では最もスリムなフォルムになりました。

レンジファインダー:世界を写す正確なウィンドウ

レンジファインダーは、ライカ M システムの輝かしい歴史の中で常に大きな役割を担ってきました。この伝説的なフォーカス技術の数々の重要な要素は、「ライカ M10」でさらに最適化されています。被写体をよりしっかり捉えるために、視界を 30% 広げ、ファインダー倍率を 0.73 に引き上げたほか、アイレリーフ (接眼レンズから目までの距離) も 50% 大きく広げ、撮影者が眼鏡をかけていてもビューファインダーを使用しやすくなりました。

デジタルキャンバスとなるセンサー

「ライカ M10」の主要なコンポーネントとして挙げられるのが、このカメラのために特別に開発された 2400 万画素のフルサイズ CMOS センサーです。この新技術のおかげで描写性能に関する全パラメーターが著しく向上し、ダイナミックレンジ、コントラストの再現性、シャープネスと分解能が特に卓越しています。独自のマイクロレンズ構造を採用したことで非常に大きな開口が可能になり、光が斜めからセンサーに入射してもフォトダイオードで正確に捉えることができ、前モデルより性能も向上しています。センサーのカバーガラスは IR カットフィルターとして機能し、差し込む光の好ましくない反射を複数のガラスレイヤーで防いでいます。さらに、ローパスフィルターがないことできわめてシャープな描写を実現し、特に広角レンズや明るいレンズを使用する場合に卓越した描写力を発揮します。



「ライカ M10」に新設計のセンサーを採用したことで ISO 感度域が広がり、ISO 100～50,000 の ISO 感度の範囲で設定できるようになったほか、高感度で撮影した時のノイズ特性が著しく向上しました。これにより「ライカ M10」はフォトグラファーのまったく新たな扉を開き、光に恵まれない条件下の撮影でも卓越した描写性能を発揮します。

新しいイメージプロセッサー: 次なるクオリティレベルに到達

「ライカ M10」は最新世代のイメージプロセッサー「LEICA MAESTRO II」を採用し、技術的には最先端の画像処理水準です。新開発の 2400 万画素のセンサーとの組み合わせにより、卓越した描写力の写真撮影が可能になりました。また、2GB のバッファメモリーを搭載し、最高 5 コマ/秒の高速連写を高精細で実現できるため、決定的な瞬間を逃すことはありません。「ライカ M10」はこれまでの中で最速の M 型カメラとなりました。

このほかにも、このイメージプロセッサーによりルーペ(拡大)機能を自由に配置できるようになり、シャープネスを確認しやすくなりました。この新機能は、カメラの液晶モニター上だけでなく、画素数 240 万ドットの外付け電子ビューファインダー「ビゾフレックス」でも使用することができます。ビゾフレックスは角度調整が可能で、普段とは違ったアングルで撮影できるほか、GPS 受信機も内蔵していますので、撮影画像に位置情報を付加することができます。

余分な要素を省き、直感的に操作できるコンセプトを採用

ライカ M 型カメラは、常に写真撮影に本当に必要な要素だけを追求してきました。この原則は「ライカ M10」においても忠実に踏襲され、写真撮影に基本的に必要な設定機能にすぐにアクセスできるという直感的な操作性をより高めています。例えば、カメラ背面の操作部はジョイスティックと「プレイ」、「ライブビュー」、「メニュー」の 3 つのボタンのみに絞られており、特定の重要な設定は撮影者の好みや撮影状況に合わせて調整できるようになっています。また、「ライカ M10」はメインメニューからメニュー項目を自由に選んで登録できる「マイカメラメニュー(MyCamera menu)」を採用しています。

「ライカ M10」で最も目立つ特長のひとつが、トップカバーに設けられた ISO クリックダイヤルです。「ライカ M10」は M 型デジタルカメラで初めて、ISO 感度を含め、フォーカス、絞り値、シャッタースピードなどの写真撮影に必要なすべてのパラメーターを、電源オフのまま、また液晶モニターからメニュー画面を呼び出すことなく設定できるようになりました。これにより、よりダイレクトに操作できるようになっただけでなく、目立たずに撮影することができるようになりました。

Wi-Fi 機能: 思い出をその場でアップして共有可能

「ライカ M10」は M 型カメラとして初めて Wi-Fi 機能を内蔵しました。撮影した写真を Apple 社のモバイル端末にワイヤレスで送信して編集したり、ソーシャルネットワークにアップして共有することもできます。ライカ M アプリをモバイル端末にインストールすれば、DNG 形式の RAW ファイルをダイレクトに送信し、iOS 10.2 以降に対応したアプリで処理することができます。また、ライカ M アプリがあれば Wi-Fi 経由で「ライカ M10」をリモート操作することができるようになり、普段とは違ったアングルで撮影したり、シャッタースピードを下げた時の手ブレを防ぐことも可能になります。



ライカ M10:さらなる高みへ到達

ライカカメラ社の CEO であるオリバー・カルトナーは「ライカ M10」についてこう述べています。「M 型カメラは、ライカのハートであり、根幹であり、そして精神とも言える重要な存在です。「ライカ M10」は、レンジファインダーのライカ M 型カメラならではの利点を重視し、最先端の技術と卓越した光学性能が融合されています。こうして生まれた画期的なカメラと写真撮影に本当に必要な機能のみに絞り込むアプローチは新たな歴史を刻み、非常にシンプルな操作コンセプトによってさらなる高みへと到達することになりました。「Made in Germany」と「made by Leica」を象徴する「ライカ M10」は、最先端のエンジニアリング、最高レベルの品質とクラフトマンシップを示す傑出したブランドステートメントになるでしょう」

ライカカメラ AG 社主で、監査役会会長を務めるアンドレアス・カウフマンもこう話します。「新製品の「ライカ M10」は万人向けのカメラであるとは言えませんが、これまで製造された製品と一貫した互換性を保ちつつ、カメラを愛する方々には未来に対応する最適なカメラです。このレンジファインダー式デジタルカメラは、私でも写真の構図や構成をしっかりと確認できますし、世界の偉大な写真家たちにはいかないものの、それに近い世界を見せてくれて、私自身の目で捉えた通りの写真を撮影することができます。新製品の「ライカ M10」と現在の、そしてこれまでに製造された豊富な M レンズは、写真を愛するすべての方々の願いを呼び覚まし、それを満たしてくれる製品です」

ライカストア、ライカブティックおよびライカ正規特約店にて 2017 年 2 月発売予定です。



ブラッククローム仕上げ



シルバークローム仕上げ



ライカ M10 上部



テクニカルデータ

ライカ M10

型式	ライブビュー機能搭載レンジファインダー式デジタルカメラ
レンズマウント	ライカ M バヨネットマウント方式 6 ビットコード検知センサー付き
使用レンズ	ライカ M レンズ、ライカ R レンズ(別売のライカ R レンズ用アダプターを使用)
撮像素子	CMOS イメージセンサー、約 24 x 36mm
画像解像度	DNG™: 5976 x 3992 画素(2400 万画素)、JPEG: 5952 x 3968 画素(2400 万画素)、4256 x 2832 画素(1200 万画素)、2976 x 1984 画素(600 万画素)
記録形式	DNG™(RAW): 圧縮あり(ロスレス圧縮)、JPEG
ファイルサイズ	DNG™: 20MB~30MB、JPEG: 画像解像度や被写体により異なる
バッファメモリー	2GB / 16 枚連写
ホワイトバランス	オート/マニュアル/8 プリセット/色温度設定
記録媒体	SD メモリーカード(最大 2GB)、SDHC メモリーカード(最大 32GB)、SDXC メモリーカード(最大 2TB)
表示言語	ドイツ語、英語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、日本語、中国語(繁体字)、中国語(簡体字)、ロシア語、韓国語
露出制御	実絞りによる TTL 測光
測光方式	シャッター先幕のホワイトブレードに反射した光を測光: 中央部重点測光; センサーの測光: スポット測光、中央部重点測光、他分割測光
測光範囲	ISO 100 相当で常温、常湿の場合: EV1~20(絞り値: F1~F32) 測光範囲を下回る場合は、ファインダー内で左の三角形の LED が点滅
ISO 感度	ISO 100~50000 相当(ISO 200 から 1/3 段ステップ)、 設定方法: マニュアル、オート
露出モード	絞り優先 AE モード(A): 手動設定した絞り値に応じてシャッタースピードを自動設定、マニュアルモード(M)
フラッシュ制御	
フラッシュユニットの接続	中央制御接点を備えたホットシューに接続
発光のタイミング	先幕シンクロ、後幕シンクロ
フラッシュ同調速度	1/180 秒 これより遅いシャッタースピードでのフラッシュ撮影も可能 ハイスピードシンクロ機能に対応したフラッシュユニット使用時にこれより速いシャッタースピードに設定された場合は、自動的にハイスピードシンクロ撮影に切り替わる
調光方式	撮影直前にプリ発光を行う、TTL 調光 (ライカ SF 40、ライカ SF 64、ライカ SF 26、または SCA3502-M5 アダプターとシステム互換性のあるフラッシュユニット使用時)
測光素子	本体下部にある 2 つのシリコンフォトダイオードと集光レンズ
露出補正	±3EV(1/3EV ステップ)
フラッシュユニット使用時のファインダー表示	フラッシュマークの LED が点灯
(ビューファインダーのみ)	



ファインダー

形式	ブライツフレームファインダー、パララックス自動補正機能付き
アイピース	視度:-0.5 dpt 視度補正レンズ(-3~+3 dpt)を装着可能
フレーミング	2 フレーム 1 組(35mm 用と 135mm 用、28mm 用と 90mm 用、50mm 用と 75mm 用)で表示されるブライツフレームを使用 装着レンズの焦点距離に合わせて自動切り替え
パララックス補正	ファインダーの視野とレンズにおける上下および左右の差異をピント調整に応じて自動補正
ブライツフレームと撮影範囲	撮影距離が 2m の場合に撮像素子(約 23.9 x 35.8mm)で撮影される範囲を表示 無限遠では、使用レンズの焦点距離に応じて、ブライツフレームの表示よりも約 7.3%(28mm)~18%(135mm)広い範囲を撮影 撮影距離が 2m を下回る場合は、ブライツフレームの表示よりも若干狭い範囲を撮影
ファインダー倍率	0.73 倍
ピント合わせ	フォーカシング測距枠(ファインダー中央部に明るい領域として表示)を使用 二重像合致式またはスプリットイメージ式
有効基線長	50.6mm(基線長 69.31mm x ファインダー倍率 0.73 倍)

表示

ファインダー	上下にドットがある 4 桁のデジタル LED 表示
液晶モニター	3.0 型 TFT カラー液晶モニター ドット数:1600 万ドット 画素数:103 万 6,800 画素 視野率:約 100% カバーガラス:傷が付きにくい Gorilla®ガラス 色空間:sRGB、

シャッターとシャッターレリーズ

シャッター	縦走りメタルブレード・フォーカルプレーンシャッター
シャッタースピード	絞り優先 AE モード(「A」):125~1/4000 秒(無段階)、 マニュアルモード:8~1/4000 秒(1/2 段ステップ)、8~125 秒(1 ステップ)、 「B」:バルブ撮影(最大 125 秒) セルフタイマーとの併用で T モード(シャッターレリーズボタンを押すとシャッターが開き、もう 1 度押すとシャッターが閉まる)を使用可能) フラッシュ同調速度:1/180 秒 1/180 秒より速いシャッタースピードでのフラッシュ撮影も可能(ハイスピードシンクロ機能を備えた対応フラッシュユニット使用時)
連続撮影	約 5 コマ/秒、最大 30~40 コマ
シャッターレリーズボタン	2 段階の作動ポイント: 1 段階: パワーON、測光と AE ロックの実行(絞り優先 AE モード使用時)、2 段階: レリーズ 標準ケーブルレリーズ用のねじ穴付き
セルフタイマー	2 秒(絞り優先 AE モード、マニュアルモード)または 12 秒 メニューで設定 作動中はファインダー窓の LED 表示が点滅
本体電源のオン/オフ	本体上部のメインスイッチを使用 一定時間が経過した後に自動的にスタンバイモードに移行する「オートパワーオフ」を設定可能(移行までの時間は 2 分、5 分、10 分から選択可能、シャッターレリーズボタンを半押しすると「オートパワーオフ」状態を解除



電源	充電式リチウムイオンバッテリー(公称電圧 7.4V、容量 1300mAh)×1 DC 1000mA/7.4V 型式番号:BP-SCL5 動作温度(カメラ内):0~40°C
バッテリーチャージャー	定格入力:AC 100~240V(50/60Hz、300mA、自動切換) DC 12V、1.3A 定格出力:DC 7.4V、1000mA/DC 8.25V8、1100mA(最大) 型式番号:BC-SCL5 動作温度:0~35°C
GPS 機能	撮影場所の位置情報を画像の Exif ファイルに記録 (別売りアクセサリーの電子ビューファインダー「ライカ ビゾフレックス」使用時のみ) (一部の国では当該国の法律により GPS 機能の使用が禁止されており、GPS 機能が自動的に停止)
Wi-Fi	準拠規格:IEEE 802.11b/g/n(無線 LAN 標準プロトコル)に準拠 使用周波数範囲:1~11ch 暗号化方式:Wi-Fi 準拠 WPA™/WPA2™ アクセス方式:インフラストラクチャーモード
本体 材質	本体:マグネシウム合金ダイカストのフルメタル、合成皮革の外装 トップカバーおよびベースプレート:真鍮製 本体仕上げ:ブラッククローム仕上げまたはシルバークローム仕上げ
フレームセレクトレバー	任意のブライトフレームの組を手動で表示、焦点距離の異なるレンズの撮影範囲の確認などに使用
三脚穴 動作温度	A1/4(1/4 インチ) DIN に準拠 ステンレス製 ベースプレートに配置 0~40°C
インターフェース	アクセサリースュー(ISO 準拠)、電子ビューファインダー「ライカ ビゾフレックス」(別売)用の接点付き
寸法(幅×高さ×奥行き)	約 139 × 80 × 38.5mm
質量	約 660g(バッテリーを含む)
付属品	バッテリーチャージャー100~240V、カーアダプター×1、リチウムイオンバッテリー、キャリングストラップ、ボディキャップ、ホットシューカバー

